



平成 28 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 ホリイフードサービス株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯田 益弘
(コード番号 3077)
問合せ先 取締役経営管理本部長 根本 輝昌
電 話 (029) 233-5825

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年3月期第2四半期累計期間において計上しました特別損失の概要をお知らせすると共に、平成28年5月16日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 固定資産除却損

当第2四半期累計期間において当社が保有する固定資産の一部について、設備の改修及び老朽化による固定資産の買換えに伴い、「固定資産除却損」11,755千円を特別損失に計上いたしました。

(2) 減損損失

当第2四半期累計期間において営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗(忍家鹿嶋店他22店舗)について帳簿価額を回収可能価額まで減額した当該減少額(202,341千円)、及び当第2四半期累計期間において新たに閉鎖が確定した店舗(忍家新所沢西口店他1店舗)について帳簿価額の全額(23,146千円)の合計225,487千円を「減損損失」として特別損失に計上いたしました。

(3) その他

当第2四半期累計期間において閉鎖を決定した店舗(忍家前橋下小出店他7店舗)に対し、閉鎖に伴い発生が見込まれる損失額40,326千円を「その他」として特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想数値の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	3,889	24	24	△31	△5円58銭
今回修正予想 (B)	3,613	△72	△72	△448	△79円04銭
増減額 (B-A)	△276	△97	△96	△416	—
増減率 (%)	△7.1%	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	4,030	143	142	△67	△11円93銭

平成 29 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	7,863	188	200	34	6円12銭
今回修正予想 (B)	7,303	△64	△65	△603	△106円38銭
増減額 (B-A)	△560	△253	△265	△637	—
増減率 (%)	△7.1%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	8,224	334	334	△113	△20円08銭

（業績予想の修正理由）

平成29年3月期の業績予想につきましては、社会全般的に酒類消費が落ち込むなか、同業他業態及び他業種による酒類販売強化が加わり、酒類販売に依存度の高い店舗構成を採る当社は非常に厳しい状況にあります。また、過年度において業容の拡大を図るために行った多数の出店も、結果としては店舗オペレーションの低下を招く事態となり、更に状況を悪化させる要因であると認識しております。

以上が複合的に作用し、当初予想においても売上高は抑制した見込としておりましたが、第2四半期累計期間においては3,613,137千円と当初予想を276,067千円下回り、通期の売上高は7,303,051千円と当初予想を560,114千円下回る見込みであります。

経費面につきましては、売上高の減少に伴う変動費支出の減少等及び、通期においては減損損失の計上に伴う減価償却費の減少も見込まれますが、売上総利益の減少を補うには至らず、営業利益は第2四半期累計期間においては72,686千円の営業損失(97,533千円減少)となり、通期においても64,390千円の営業損失(252,983千円減少)となる見込みであります。

なお、この状況を打開するために既存店舗の活性化策として店舗改装及び業態変更を進めており、第2四半期累計期間においては一定の効果も認められておりますが、全般的な情勢を覆すには至らず、通期における大幅な回復は困難な状況であると考えております。

また、上記〔1〕に記載しました事項を含めた特別損失280,375千円に加え、回収可能性の見直しによる繰延税金資産の取崩しを行った結果、第2四半期累計期間においては四半期純損失448,120千円(416,497千円減少)となり、当事業年度末にかけて発生の可能性のある特別損失を見積もった結果、通期においては当期純損失603,114千円(637,828千円減少)と当初予想を大幅に下回り推移する見込であります。

よって、平成28年5月16日に公表しました平成29年3月期第2四半期累計期間及び平成29年3月期通期の業績予想を修正いたします。

（注）業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上